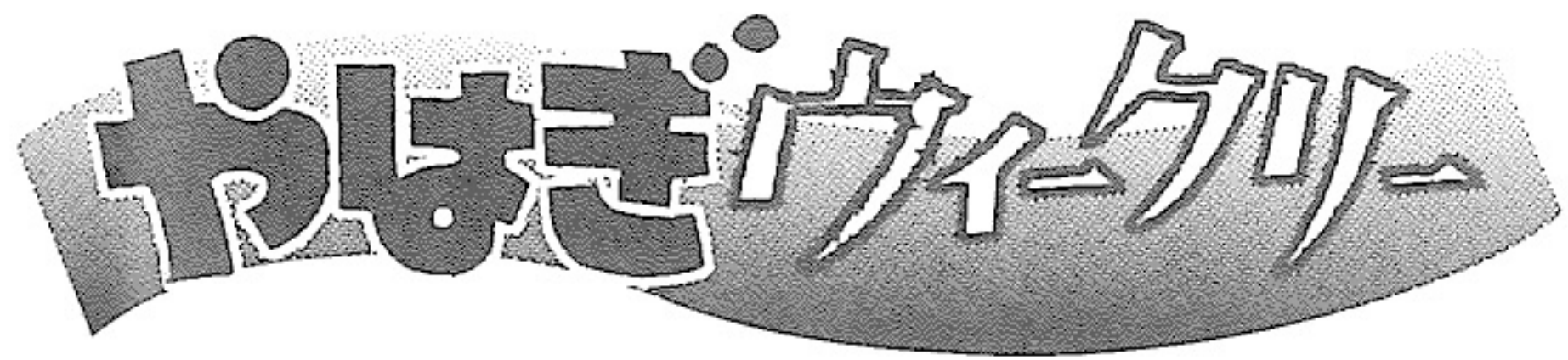




住友ゴムと東萩平町が協定

新見 克也

社員家族と地域が
お須原山で交流

ダンロップタイヤを製造している豊田市新生町の住友ゴム工業(株)名古屋工場で、先月28日、旭地区の東萩平町ひがしはまひらとの協定締結式が行われた。

住友ゴムでは国内に点在する事業所・工場の社員が地域で緑化等の社会貢献を行う「住

下草刈りや植栽などの森づくり活動を続けている。生物多様性の保全やCO2吸収による地球温暖化防止のような型にはまった目的だけでなく、地域に根ざした活動を目指しているようだ。今回の協定締結は、お須原山での活動を継続していくために5年に1度行っている更新だった。

素敵だったのは、工場長と町内会長がサインを交わすだけでなく、東萩平町の全26戸を招待したことだ。幼児からお年寄りまで多くの住民をバスで送迎して工場見学会を開き、さらに同社の保養施設へ移動して交流会も行った。なんとも温かい雰囲気だった。

実は私も、住友ゴム名古屋工場には縁がある。私の所属する市民活動グループ矢作川水族館が「住友ゴムCSR基金助成金」で支援してもらったことがあるのだ。

このCSR基金の仕組みも素敵で、社員からの寄付金に会社が同額を上乗せするマッチングギフト方式で運用されている。温かさを感じる心のこもった助成金だ。

友ゴムGENKIの「森」活動を行っており、豊田市にある名古屋工場でも15年前から東萩平町の「お須原山」約2ヘクタールを拠点に、社員やその家族が地域住民と交流しながら、

余談だが、この助成金で購入したカヤックを使って私たちが矢作川下りイベントを開催したとき、偶然にも住友ゴム社員のファミリーが参加してくれ、恩返しできたような気持ちになった。